

川南町立通山小学校

児童数：156名 学級数：8クラス URL：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1565/>

〈テーマ〉

自他の良さや違いを認め合い、児童一人一人が輝く学校づくり
～全教育活動の基盤に人権教育を据えて～

本校の特色ある取組

○ 職員研修に実施

教職員の人権感覚の高揚を図るための職員研修で外部講師を招いて2回の人権教育に関する研修会を行った。

1回目は県教育庁人権同和教育課の徳田尚文指導主事を招き「一人一人を大切にしようとする授業づくり」という演題で講演をしていただいた。2回目は宮崎県男女共同参画地域推進員の黒木瑞季氏を招いて、性的少数者の理解を深めるための研修会を行った。研修会後もいろいろな質問が出て性的少数者に対する理解を深めることができた。



【職員研修の様子1】



【職員研修の様子2】

○ 人権集会の実施

10月の全校集会で、人権に関する集会を行い、人権に関する絵本の読み聞かせを通して学ばせた。その中で、児童が友達に優しくしたり、優しくされたりしたときの気持ちを、「やさしい通山っ子の木」に桜の葉のカードを書いて貼る取組を知らせ、全校で取り組んだ。



【やさしい通山っ子の木の取組】

○ 校内環境の整備

10月の人権に関する集会を受けて、学校の正面玄関に「やさしい通山っ子の木」の用紙を準備し、児童が桜のカードを貼っていく取組を行った。同じ学級の児童だけでなく、他の学年の児童についての感謝の気持ちを書いたカードも見ることができた。

成果と課題

- 友達の良い点を見つけて貼ることで、児童に友達の良い点について目を向けさせることができたとともに、児童が自分自身の良さにも気付かせることができた。
- 人権感覚を高める職員研修を行うことで、児童一人一人に寄り添うことの重要性を再認識することができた。性的少数者に関する研修では、児童からの相談への対応についての話も聞くことができた。
- 児童の人権感覚の向上を図るとともに、地域の実態に即した人権教育の充実を図っていくようにしたい。